

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。これまで無料でご愛読いただいていた皆様の郵送を順番にお止めさせていただいております。ご購読を希望する場合は、右のQRコードよりご登録をお願いいたします。定期購読料は、年間8500円です。宜しくお願い申し上げます。



保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

SUZUHO logo and contact information for the publisher.

Quality logo and publisher information.

THE WATCH & JEWELRY TODAY logo and website information.

眼科と眼鏡店とプラスαで創る未来市場

IOFT2024は、10月15日~17日/東京ビッグサイト

日本最大のアイウェアの専門展示会「第37回国際メガネ展IOFT2024」が、10月15日~17日までの3日間、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。主催はRX Japan(株)。特別後援として(一社)福井県眼鏡協会、共催に全日本眼鏡工業連合会、日本眼鏡卸組合連合会が名を連ねている。

今年には昨年を超える200社の出展が見込まれている。今年のテーマ国はフランス。パビリオンを含む新規10ブランドが新たに誘致され、徹底したプロモーションが図られる予定となっている。さらに、イタリアのほか、韓国、中国などのパビリオンも形成される。今年には新たに特別審査エリアとして「GLOW」が新設される。GLOWは選ばれたアイウェアが集まる特別なエリアで、世界中からライセンスでデザイン性の高いアイウェアが集結し、今までにない特別な出会いが得られる場所だとされている。

(ファッションテックEXPO)」となっている。そのため、ファッション系バイヤーとの交流強化も図られる。来場者はセレクトショップ・専門店・百貨店(15%)、卸・輸出入業(26%)、メーカー(20%)、通販・ネットショップ(13%)、異業種(21%)、商社(5%)となっており、新たな販路拡大も出会い次第では望める。昨年は異業種との交流によって、価格の流出が心配されたが、多くの交流は見られなかったため今回は楽しみなどである。

もちろんメガネに特化した海外バイヤーとの商談強化も実施される。各国の超有力バイヤー150名に対して、ホテル宿泊の無料提供が行われ、450店舗を持つ中国No.2の大手眼鏡チェーン店をはじめ、上海初のメガネサロンを展開する企業、韓国で500店舗を運営する大規模小売店、ソウルでトップクラスのアイウェアセレクトショップ、マレーシアの高級眼鏡チェーン店、香港・台湾・上海各地に200店舗展開する有力小売店、大全に370店舗展開する台湾No.1大手眼鏡チェーン店などが訪れる。

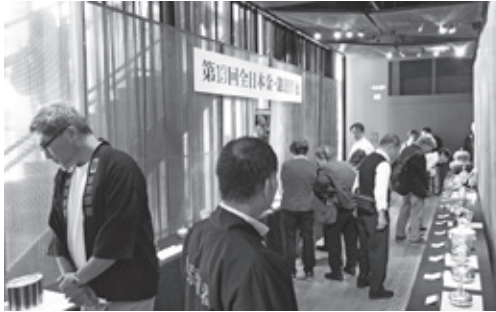
来場者に対しては、充実のセミナーが用意されている。特別講演、補聴器、レンズ、店長・販売員向けなどの内容を最新のテーマで実施する。15日の11時からは、東海光学(株)による売上戦略「女性目線の商品開発秘話」売上に繋がる新しい戦略とは、16日の12時からは東京眼鏡専門学校によるレンズフィッティング「見え方納得感を取差データから提供する一貴方は星が点に見えますか」、17日14時30分からは、(株)ニコン・エンロールとみるみるプロジェクトによる対談「眼科×眼鏡店「今、眼鏡店に求められる「連携力」とは!?」〜眼科と眼鏡店とプラスαで創る未来市場〜」など、面白い内容となっている。

第14回全日本金・銀創作展 2024 logo and exhibition details.

インバウンド人気も高い日本の伝統工芸

「第14回全日本金・銀創作展」開催

作品募集を開始



インバウンドからも評価を得ている「第14回全日本金・銀創作展」(主催:全日本金・銀創作展開催委員会)が11月23日・24日の2日間、浅草文化観光センター7階展示スペースで開催される。入場無料。共催:東京金銀器工業協同組合、後援:経済産業省、東京

都、日本商工会議所ほか。それに合わせ、伝統の金工技術を駆使し、伝統工芸の継承と産業・経済・文化の発展に寄与するコンクール作品の公募を開始した。申込期限は10月1日~31日まで。作品提出期限は11月5日~14日の10時~17時必着となっている。5年ぶりの開催となる同展は、30年以上にわたり、伝統工芸の東京銀器をはじめ、全国に点在する金工産地、金工に携わる一般及び学生など多くの人に参加を呼びかけ、研鑽を重ねてきた伝統の金工技術を駆使して、現代に即すデザインの優れた応募作品を一堂

に発表・展示するもの。さらに、コンクールを実施して技術の相互交流を図るとともに、同展示会が我が国の金工技術及び精神の更なる向上を求め、伝統工芸の継承と産業・経済・文化の発展とともに、国際交流にも寄与できることを目的としている。近年では海外からの観光客などからの人気が高く、日本の風情ある金工芸作品を探しているインバウンド向け商品としての展開が増えている。同展開催委員会委員長の森将氏(東京金銀器工業協同組合理事長)は、「銀器は皇室におかれましても晩

会のカラトリ、式典のボンポニエールをはじめ、全ての儀式において必要不可欠な品々です。コロナ禍を過ぎ、こうして再び開催できることは非常に名誉であり光栄であります。今回も今まで以上に、金工技術の出会いとふれあいのもとに、伝統工芸産業の発展と金属文化の普及に寄与してまいりたいと存じます。全国の金工産地、一般、学生の方々に、金・銀創作展に相応しい、創作性豊かで優秀な作品を数多く応募くださるようお願い申し上げます」と積極的に呼び掛けている。

入賞予定は、経済産業大臣賞1名(賞金10万円)、関東経済産業局長賞2名(賞金3万円)、東京都知事賞2名(賞金2万円)など計10賞。審査委員は、前田宏智委員長(東京芸術大学美術学部工芸科彫金研究室教授)、大沼千尋副委員長(元東京都立工芸高校アートクラフト教諭/現作家)ほか8名で構成されている。応募方法や審査基準などは、東京金銀器工業のホームページで確認を(www.tokyoginko.or.jp)。

天然宝石輸入部 (株)萩原 logo and contact information.

福井・鯖江の匠の技が詰まった国産メガネフレームやイタリア・フランスの最先端デザインフレームが見どころ。また体感バランスのパフォーマンスが変わるカラーレンズやベントリ再利用から生まれたエコなメガネクロスなども最近のトレンドだ。

同展は、昨年よりファッションワールド東京(FaW)の8つの専門エリアで構成される中のひとつのカテゴリとして開催され、日本最大のファッション展の一部となっている。その他のカテゴリーは、「Made in Japan(日本のファッション輸出EXPO)」、「Trend(ブランド&デザイナーEXPO)」、「Sourcing(アジアの縫製・生産工場EXPO)」、「Textile(生地・素材EXPO)」、「Sustainable(サステナブルファッションEXPO)」、「Wellness(健康・美容・スポーツウェアEXPO)」、「Tech

新しい未来を見据え 2025年度からの山梨ジュエリーフェアを山梨ジュエリー協会が主催する

宝石のまち甲府で、プロのためのBtoBトレードショーとして開催されてきた「山梨ジュエリーフェア2025」は、4月9日~11日の3日間、アイメッセ山梨で開催されることが決定しているが、新しい未来を見据え、更なる発展を担っていくために、協同組合山梨ジュエリー協会が同フェアの単独主催社に変更すると発表があった。柳本力理事長は「山梨県の地場産業である宝飾業界が更なる飛躍を遂げるために、主催団体として同協会が活動することを決定しました。新たなイベントとして道を切り開き、更なる発展を見込んでいます。国際宝飾展としてフェアの構築を目指す中で、より幅の広

い出展企業や関係者との交流が実現できることを確信しています」と挨拶。協力を求めた。また、フェアの後半にはジェムマーケットが開催され連携していく考えを示していた。なお、インフォーマーマーケットは引き続き協力団体として残る。

FD.P Lab Fixture Display & Packaging Laboratory advertisement.

The Jewelry Concierge advertisement with QR code and contact info.

WJ TODAY ONLINE advertisement with QR code and website link.

KOHSAI ONLINE SHOP GRAND OPEN advertisement with QR code and contact info.

LANVIN COLLECTION advertisement with jewelry image and contact info.

甲府メッキ advertisement with QR code and contact info.